

県立人権ひろば 21 の管理状況に係る外部有識者からの意見聴取に係る報告書

平成 24 年 3 月 / 鳥取県総務部人権局

指定管理者制度を導入している県立人権ひろば 21（鳥取市扇町 21）について、指定管理業務の実施状況について外部有識者から意見を聴取した結果は次のとおりでした。

今後、意見を踏まえ、指定管理者と協議の上、改善に努めることとします。

- 1 日時 平成 24 年 3 月 7 日（水） 13:30～15:30
- 2 場所 人権ひろば 21（鳥取市扇町）2 階 会議室
- 3 外部有識者

田中 俊一 氏	鳥取県男女共同参画推進員
中江 美紀 氏	琴浦町教育委員会事務局人権・同和教育課 人権教育推進員
松ノ谷 博 氏	鳥取市教育委員会学校教育課 参事
水上 啓吾 氏	(財)とっとり地域連携・総合研究センター 研究員

4 意見聴取の概要

利用者が長期的に減少傾向にあるので、利用促進策その他の指定管理業務について外部有識者からの意見聴取、点検を実施したものの。

5 外部有識者からの意見

- 図書が充実していたり、交流スペース活用にあたっての助成がいただけたりと非常に魅力があるが、この場所は遠方、特に中西部からの利用はやはり困難。例えば、男女共同参画についてのことであれば、こちらではなく、より人彩を利用されるのではないか。
- ライブラリーに配架してある図書は専門性が高く、読み込むタイプのもので、市町村の人権啓発や学校の授業にすぐ生かせるものが少ない。現在、インターネットである程度の情報収集が可能のため、こちらのライブラリーを利用しようという方も多くないのではないか。
- ビデオの貸出も行っているが、最近ではワークショップなど主体性を育むための研修も増えてきており、単にビデオや DVD を視聴する研修は減ってきている。

こうした流れの中で、ビデオについては、関連図書とセットで貸出だけにとどまらず、このビデオを使用してこのような話し合いをするのはどうか、といったプログラム自体の提案を行ってはどうか。ただ、これは人権ひろば 21 の機能強化というより、人権文化センターの業務の範疇になるのかもしれない。

- 学校関係者の利用が減っているが、この減少分を取り戻すことは困難。学校の現状として、まず、人権教育主任の役割が変わってきている。昔と比べて、人権教育主任が校外に出ることはなくなり、校内での業務が中心になっている。

また、各学校図書館に司書が配置され、図書も充実してきている。人権ひろば 21 に比べて専門性ではかなわないが、人権教育に必要な図書は学校の中にある。

PTA の人権研修については、個別の人権問題をテーマとしたものより、例えば中学校では学校不適応など喫緊の課題にシフトしてきている。また、そのための講師招聘の予算も充実している。

そして、授業の中身も変わってきている。教科書に書かれてあることに沿ってきちんと授業ができる教員の育成に重点が置かれ、人権教育についても、個別の人権問題について教員が独自に勉強して授業に取り入れていくことはない。また、個別の人権問題について調べるといった学習から、主体性を持って自ら問題意識を持ち考える力をつけさせる学習形態が変わってきている。

こういったことから、学校による人権ひろば 21 の利用を促進させようというのは困難。学校の利用促進を図るとすれば、調べ学習（調べることを中心とした学習）ではなく、話し合い学習を支援する役割に期待したい。

- 今の学校では、学校不適應への対応を重視しているが、一番必要なのは人的配置で様々な支援員などを置いている。このような事に関しては知的支援ではなく、人的支援が必要で、人権ひろば 21 のネットワークにより、こういった人材がいる、といった紹介をいただければ有難い。
- 学校関係者の利用が減っているが、この減少を取り戻すのではなく、現に今も利用している方々のニーズを掘り下げて調べる必要があるのではないか。
- 多くの市町村で「人権情報センター」といったものが設置されているが、役割がかなり重なるのではないか。より専門性を充実させていけば、そういった市町村のセンターとの差別化が図れるのではないか。
- 交流スペースに展示してある人権啓発パネルについて、良いものをつくっている。この場所での掲示にとどまらず、様々な場所での展示もすればよい。また、貸出もしているが、貸出を待つのみでなく、人権教育推進協議会など様々な場で積極的にパネル展示や、人権ひろば 21 自体の PR をしてはどうか。
- 企業の人権啓発担当者が研修実施等に係る相談がしやすい場所にしてはどうか。
- 利用者数が減っているが、利用者数に限らず、多様な評価方法があつて良いと思う。評価の指標のあり方を考えていく必要があるのではないか。

以上